

## 検討会におけるまとめ

	項 目	方 法
1	運営の担い手の確保方法	<p>■担い手の確保方法</p> <div> <p>確 保 方 法：地域の団体や住民を中心に担い手を確保する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の団体又は個人への声かけ</li> <li>○交流センター活用団体や地域づくり協議会加入団体、ボランティア団体等への説明会の実施 など</li> </ul> <p>実 施 回 数：週1回</p> <p>担い手の人数：5人×4班＝20 人</p> <p>（おおむね月1回の従事で運営できる人数）</p> </div>
2	提供場所の確保	<p>■提供場所をどこにするか</p> <div> <p>小学校(家庭科室など)</p> </div>
3	食材等の調達方法	<p>■食材はどうするか</p> <div> <p>補助金(交付金)で担い手が食材を購入することを基本とし、地元農家やスーパー等への協力も依頼する。</p> </div>

	項 目	方 法
4	備品、食器類等の確保	<p>■事業を始める際に必要な、備品や食器はどうか</p> <p>小学校にある既存の設備、備品等を活用することを基本とし、不足する備品等は、市が支援する。</p>
5	教育委員会及び学校との調整	<p>■教育委員会及び学校と調整する事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の借用</li> <li>・施設利用の方法(開錠、事業の実施日・時間、備品の使用など)</li> <li>・児童、保護者への説明</li> <li>・参加児童の募集</li> <li>・通学方法(安全の確保)</li> </ul>
6	市の支援の範囲	<p>■市がどこまで支援するか</p> <p>朝ごはんの食材費及び調理上必要な消耗品費は、市が支援する。</p>
7	個人負担のあり方	<p>■有料か無料か</p> <p>1食 50 円</p>
8	その他	<p>■安全衛生面の配慮</p> <p>食品衛生責任者を設置</p>